

ランチオンセミナー2

演題名	小笠原先生、ひとりで家で死ぬますか？ ～遠隔診療利用型在宅医療モデル事業（岐阜モデル）～
------------	---

概要

今年 25 年目を迎える小笠原内科は、平成 24 年度には在宅医療連携拠点事業に採択され、岐阜市中心部を対象に事業を行った。昨年の活動の中で独創的・先進的と思われる教育的在宅緩和ケア、遠隔診療、THP の育成に焦点をあて、遠隔診療利用型在宅医療モデル事業（岐阜モデル）と題した事業を 25～27 年度の 3 年間かけて点から面への戦略として、岐阜県全域で行う予定である。

おひとりさまの在宅ケア、遠隔診療利用型在宅医療モデル事業（岐阜モデル）に関して講演したい。

遠隔診療利用型在宅医療モデル事業【岐阜モデル】

平成24年度在宅医療連携拠点事業での実績をもとに、県下全域への展開を図る。これを
実現するため、病院から在宅移行した患者のワークショップや遠隔医療・安心ネットの実施、
小笠原内科による遠隔診療指導、教育的在宅緩和ケアなどを実施する。

